



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第504号

2021年5月17日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

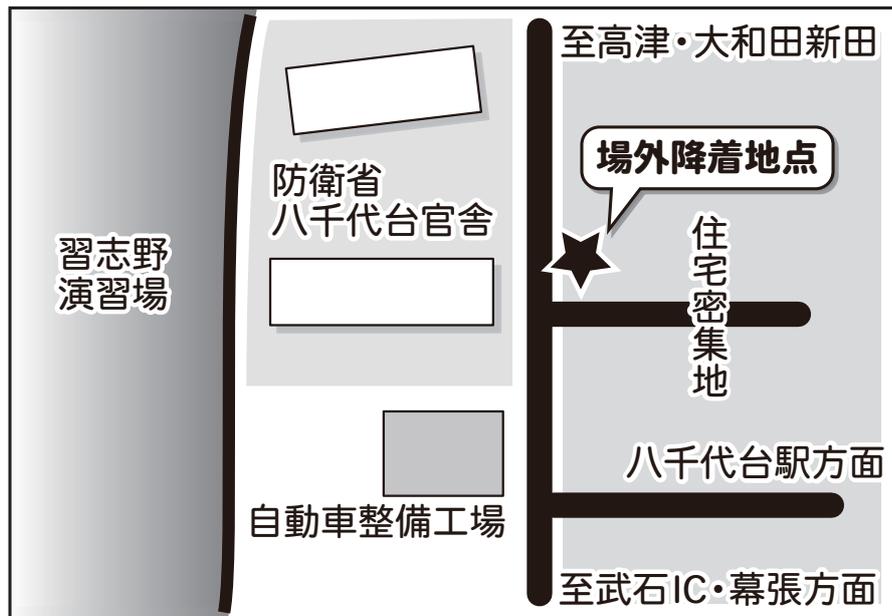
八千代市大和田新田

312-5

自衛隊の落下傘が八千代台北の歩道に場外降着事故が発生

3月11日、降下訓練中の陸上自衛隊の落下傘が、習志野演習場敷地外の歩道に降下する事故が発生しました。八千代市危機管理課からは、「人的被害及び物的被害なし」という報告でしたが、落下傘は、防衛省八千代台官舎の敷地を超えて、さらに交通量の多い幹線道路を超え、住宅密集地である八千代台北7丁目の歩道上に降下しています。

一歩間違えれば、市民を巻き込みかねない、非常に危険な場外降着事故でした。



こんどは米空軍機による降下訓練を実施

場外降着事故から間もなく、こんどは米空軍機からの降下訓練を、5月18日～20日に実施すると、陸上幕僚監部広報室から5月11日付で公表されています。この訓練の目的は、戦術技量の向上のために降下回数を増加させるというものです。

昨年1月には、米空軍機から降下した自衛隊の落下傘が習志野高校第2グラウンドに場外降着する事故を発生させており、憂慮すべき事態です。

100万人の市街地での訓練はやめるべき

自衛隊の資料によると、過去10年間に発生した場外降着事故12件の内、6件は習志野演習場で発生しています。(表1参照) さらに、過去3年の降下訓練実績は、土地面積が最も小さい習志野演習場で、最も多く訓練が実施されているのです。(表2参照)

裏面に続く→

日本共産党は防衛省に対し、場外降着事故が発生したその都度抗議を行い、訓練の中止を求めてきました。100万人が暮らす住宅密集地のだ真ん中にある狭い演習場で訓練を繰り返す危険性は、数字からも明らかであり、いまずぐやめるべきです。

表1 降下訓練場外降着(過去10年分)

発生場所	発生日
鹿追乳牛育成牧場降下場	2012年(H24)1月17日
習志野演習場	2012年(H24)3月22日
前川原駐屯地	2012年(H24)4月20日
習志野演習場	2012年(H24)6月29日
前川原演習場	2014年(H26)4月20日
習志野演習場	2014年(H26)5月16日
東富士演習場	2015年(H27)4月17日
習志野演習場	2015年(H27)5月30日
駒門駐屯地(東富士演習場内)	2019年(H31)4月3日
東富士演習場	2019年(R1)6月18日
習志野演習場	2020年(R2)1月10日
習志野演習場	2021年(R3)3月11日

※2021年4月に防衛省から提出された資料をもとに作成

表2 降下訓練実績(過去3年分)

演習場 (土地面積※千㎡) ※2020年3月31日時点	訓練回数(延べ使用航空機数)		
	2018年度 (H30年度)	2019年度 (R1年度)	2020年度 (R2年度)
北海道大演習場 (95,950)	20回	—	—
王城寺原演習場 (46,557)	—	—	3回
相馬原演習場 (9,036)	5回	—	—
習志野演習場 (2,208)	595回	443回	301回
北富士演習場 (46,595)	5回	—	—
東富士演習場 (88,308)	187回	70回	103回
饗庭野演習場 (24,803)	18回	14回	—
大矢野原演習場 (16,340)	8回	—	—
日出生台演習場 (49,870)	9回	6回	4回

※2021年4月に防衛省から提出された資料をもとに作成